

国際シンポジウム「世界のグリーン公共調達と環境ラベルの最新動向」
“Current Status of Green Public Procurement and Eco-labelling in the world”
December 8, 2016

持続可能な消費と生産(SCP)パターンへの転換に向けた 日本の取組み

Japanese Initiatives for Promoting Sustainable Consumption and Production

平尾 雅彦

Masahiko Hirao

グリーン購入ネットワーク
東京大学

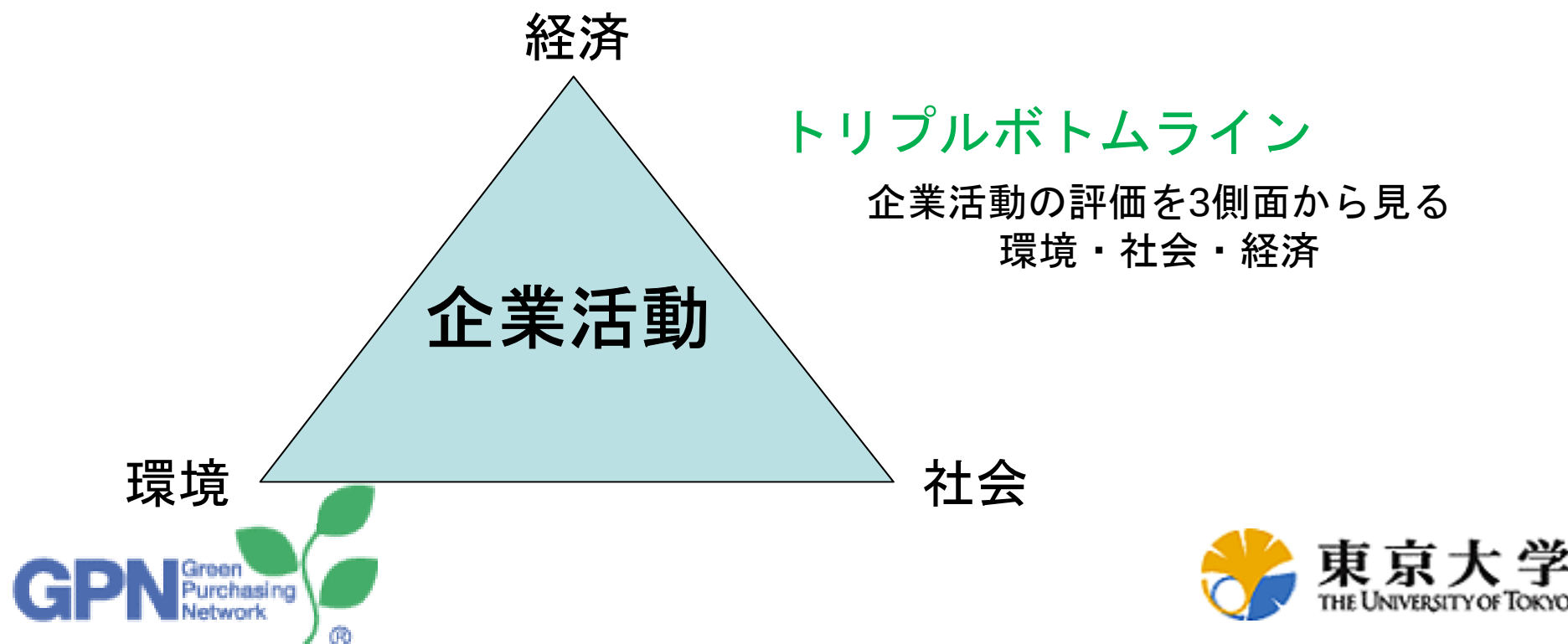
Green Purchasing Network
The University of Tokyo



持続可能な発展

- 将来の世代が自らのニーズを充足する能力を損なうことなく、現在の世代のニーズを満たすような発展

1987年 国連「環境と開発に関する世界委員会」（ブルントラント委員会）



2015年 持続可能な発展への大きな流れ

- 6月 G7エルマウサミット
 - 資源効率性向上ための行動を宣言
- 9月 国連持続可能な開発サミット
 - 持続可能な開発のための2030アジェンダ
＝持続可能な開発目標（SDGs）を採択
- 12月 国連気候変動枠組条約第21回締約国会議（COP21）
 - パリ協定を採択
 - ✓ 長期目標として2℃目標、1.5℃への言及

持続可能な開発に関わる国際的な議論の歴史

- 1972年「国連人間環境会議」（ストックホルム会議）
- 1982年「国連環境計画管理理事会特別会合」（ナイロビ会議）
- 1992年「環境と開発に関する国際連合会議」（リオ地球サミット）
 - Agenda21
 - 1996 GPN設立
- 2000年9月、国連ミレニアムサミット
 - ミレニアム開発目標（MDGs）途上国向けの目標
 - 循環型社会形成推進基本法・グリーン購入法制定
- 2002年「持続可能な開発に関する世界首脳会議」（ヨハネスブルグサミット）
 - マラケシュ・プロセス（SCP 10YFPのための準備）
 - 2005 IGPN設立
- 2012年「国連持続可能な開発会議」（リオ+20）
 - SCP 10YFP実施

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



持続可能な開発目標 1～9

- 目標 1 : あらゆる場所で、あらゆる形態の**貧困**に終止符を打つ
- 目標 2 : **飢餓**に終止符を打ち、食料の安定確保と栄養状態の改善を達成するとともに、持続可能な**農業**を推進する
- 目標 3 : あらゆる年齢のすべての人々の**健康**的な生活を確保し、**福祉**を推進する
- 目標 4 : すべての人々に包摂的かつ公平で質の高い**教育**を提供し、生涯学習の機会を促進する
- 目標 5 : **ジェンダーの平等**を達成し、すべての女性と女児のエンパワーメントを図る
- 目標 6 : すべての人々に**水**と衛生へのアクセスと持続可能な管理を確保する
- 目標 7 : すべての人々に手ごろで信頼でき、持続可能かつ近代的な**エネルギー**へのアクセスを確保する
- 目標 8 : すべての人々のための持続的、包摂的かつ持続可能な経済成長、生産的な完全**雇用**およびディーセント・ワークを推進する
- 目標 9 : レジリエントな**インフラ**を整備し、包摂的で持続可能な産業化を推進するとともに、**イノベーション**の拡大を図る

持続可能な開発目標 10～17

目標 10 : 国内および国家間の**不平等**を是正する

目標 11 : **都市**と人間の居住地を包摂的、**安全**、レジリエントかつ持続可能にする

目標 12 : **持続可能な消費と生産**のパターンを確保する

目標 13 : **気候変動**とその影響に立ち向かうため、緊急対策を取る

目標 14 : **海洋**と海洋資源を持続可能な開発に向けて保全し、持続可能な形で利用する

目標 15 : **陸上生態系**の保護、回復および持続可能な利用の推進、森林の持続可能な管理、砂漠化への対処、土地劣化の阻止および逆転、ならびに**生物多様性**損失の阻止を図る

目標 16 : 持続可能な開発に向けて**平和**で包摂的な社会を推進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供するとともに、あらゆるレベルにおいて効果的で責任ある包摂的な**制度**を構築する

目標 17 : 持続可能な開発に向けて実施手段を強化し、**グローバル・パートナーシップ**を活性化する

目標 12. SCP形態の確保 ターゲット

12.1 開発途上国の開発状況や能力を勘案しつつ、持続可能な消費と生産に関する 10 年計画枠組み（10YFP）を実施し、先進国主導の下、すべての国々が対策を講じる。

12.2 2030 年までに天然資源の持続可能な管理及び効率的な利用を達成する。

12.3 2030 年までに小売・消費レベルにおける世界全体の一人当たりの食料の廃棄を半減させ、収穫後損失などの生産・サプライチェーンにおける食料の損失を減少させる。

12.4 2020 年までに、合意された国際的な枠組みに従い、製品ライフサイクルを通じ、環境上適正な化学物質やすべての廃棄物の管理を実現し、人の健康や環境への悪影響を最小化するため、化学物質や廃棄物の大気、水、土壌への放出を大幅に削減する。

12.5 2030 年までに、廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する。

12.6 特に大企業や多国籍企業などの企業に対し、持続可能な取り組みを導入し、持続可能性に関する情報を定期報告に盛り込むよう奨励する。

12.7 国内の政策や優先事項に従って持続可能な公共調達の慣行を促進する。

12.8 2030 年までに、人々があらゆる場所において、持続可能な開発及び自然と調和したライフスタイルに関する情報と意識を持つようにする。

12.a 開発途上国に対し、より持続可能な消費・生産形態の促進のための科学的・技術的能力の強化を支援する。

12.b 雇用創出、地方の文化振興・産品販促につながる持続可能な観光業に対して持続可能な開発がもたらす影響を測定する手法を開発・導入する。

12.c 開発途上国の特別なニーズや状況を十分考慮し、貧困層やコミュニティを保護する形で開発に関する悪影響を最小限に留めつつ、税制改正や、有害な補助金が存在する場合はその環境への影響を考慮してその段階的廃止などを通じ、各国の状況に応じて、市場のひずみを除去することで、浪費的な消費を奨励する、化石燃料に対する非効率な補助金を合理化する。

「持続可能な開発2030 アジェンダ」第67条

- 民間企業の活動・投資・イノベーションは、生産性および包摂的な経済成長と雇用創出を生み出していく上での重要な推進力である。我々は、小企業から共同組合、多国籍企業までを包含する民間セクターの多様性を認識している。我々は、こうしたすべての民間セクターに対し、**持続可能な開発における課題解決のための創造性とイノベーション**を発揮することを求める。
(後略)

OPEN 2030 プロジェクト



THE GLOBAL GOALS
For Sustainable Development



企業と生活者で
ひとつ先のこと
OPEN 2030 PROJECT

2030年に向けた持続可能な開発目標（SDGs）をテーマに、
社会・企業・生活者の未来へのアクションを創り出すプロジェクト
「OPEN 2030 PROJECT」発足。

このたび、持続可能な開発目標（Sustainable development goals、以下SDGs）の達成を目指し、
未来の社会を新しく創り出すために、企業の変革とイノベーションをうながすプロジェクト「OPEN 2030 PROJECT」が発足しまし
た。

2016年の活動開始に向け、本日9月28日より参加企業の募集を開始いたします。

GPN



大学
CITY OF TOKYO

企業のSDGs活用 SDG Compass



SDGs の企業行動指針

—SDGs を企業はどう活用するか—

作成：



United Nations
Global Compact



wbcsd





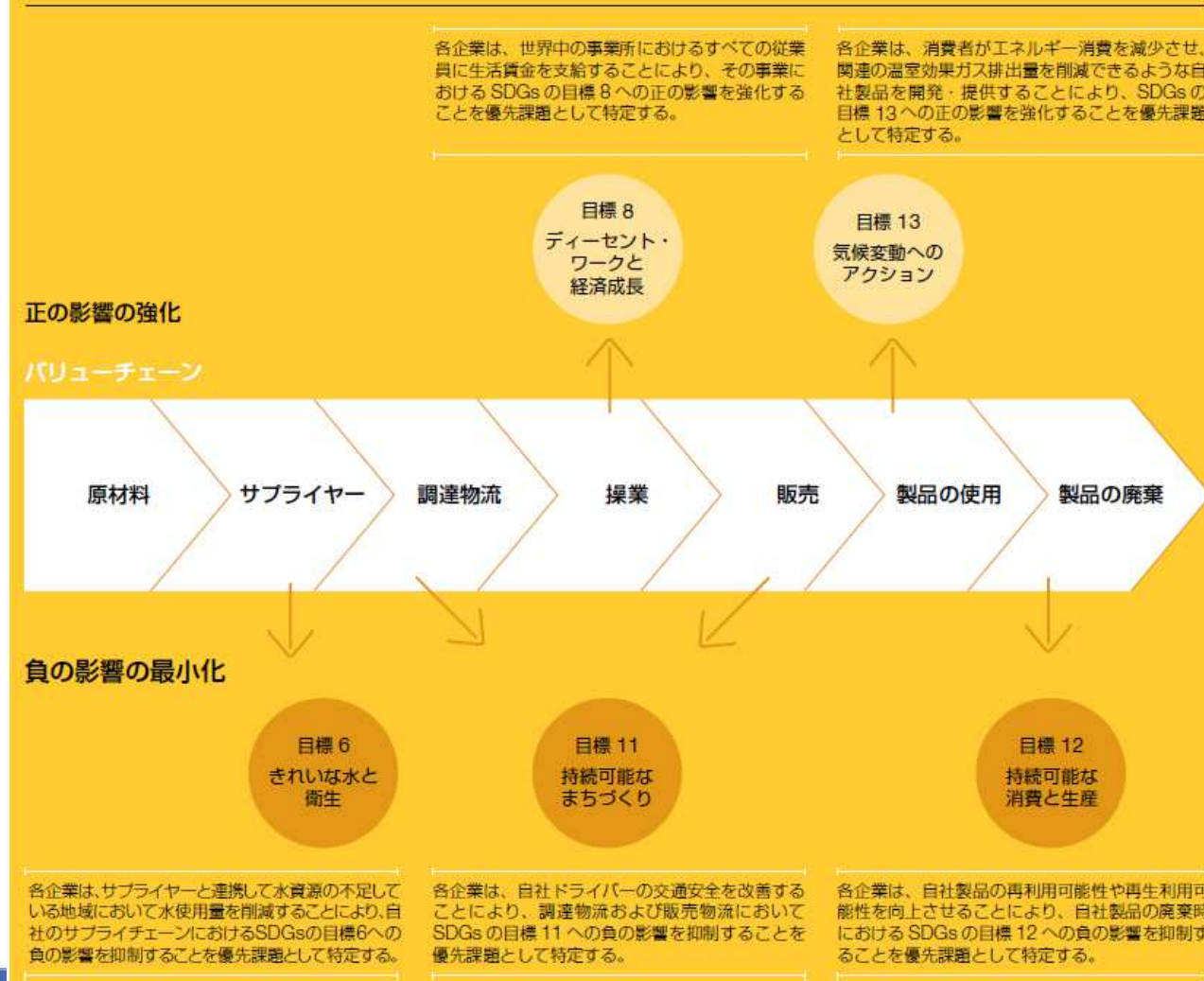
SDG Compass
企業行動指針
から引用

SDGsは目標設定
のガイド

SDGsはビジネス
モデル変革のガイ
ド

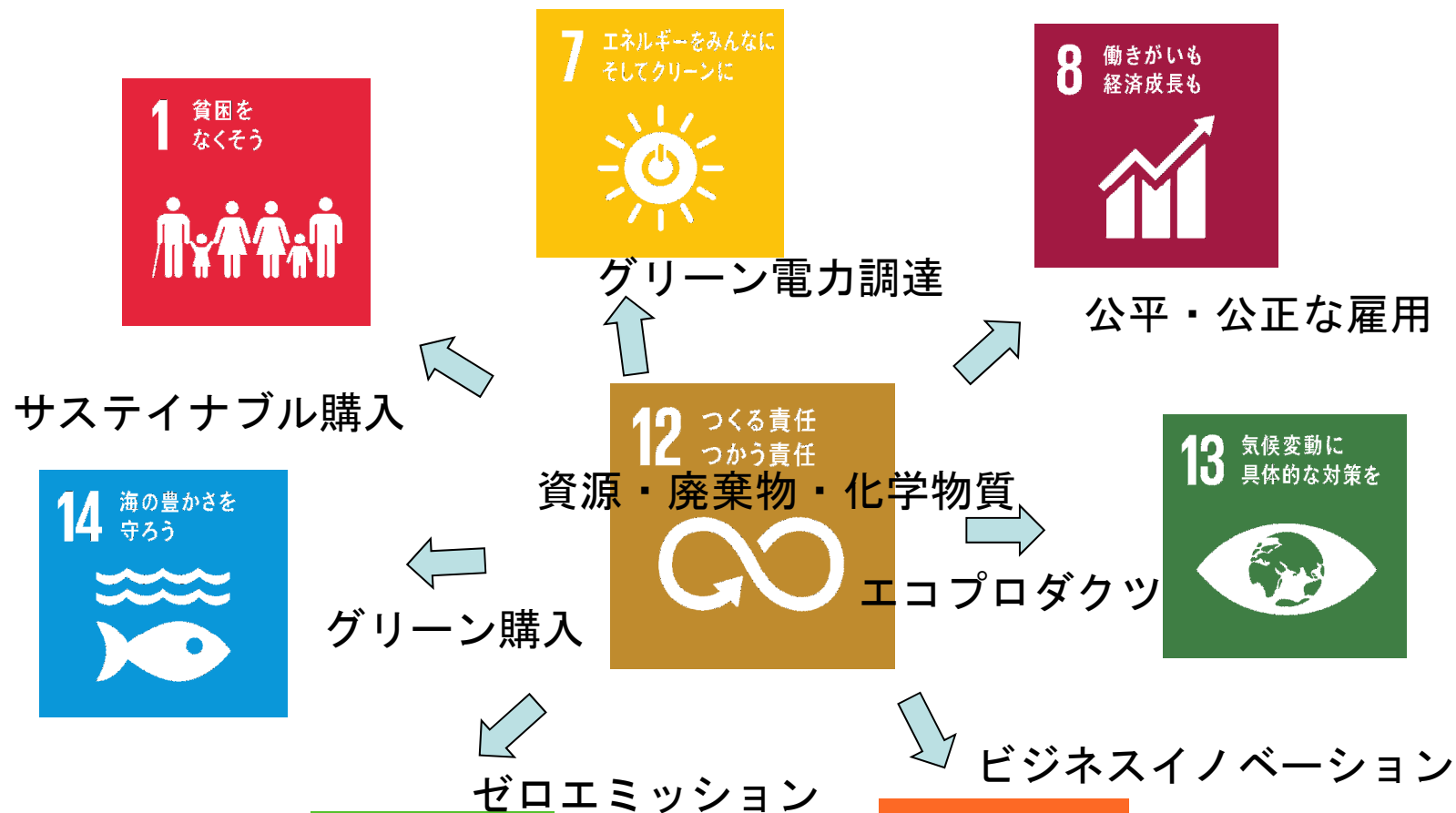
例. バリューチェーンマッピングによる優先課題の決定

実例：バリューチェーンにおけるSDGsのマッピング



SDG Compass
企業行動指針
から引用

「持続可能な消費と生産」を中心とした企業活動



「持続可能な消費と生産」を経営のメインストリームに落とし込む

Corporate Social Responsibility (CSR : 企業の社会的責任) 狭い意味での

ビジネスによる環境・社会への影響を寄附・社会貢献活動で相殺 : SRIの対象



途上国で井戸を掘る

地元清掃活動に参加

環境NGOに寄附

ビジネス・バリューチェーンの外側 : ビジネスリスクへの対応

Creating Sheared Value (CSV : 共通価値の創造)

ビジネスによって環境・社会の課題を解決 : ESG投資の対象



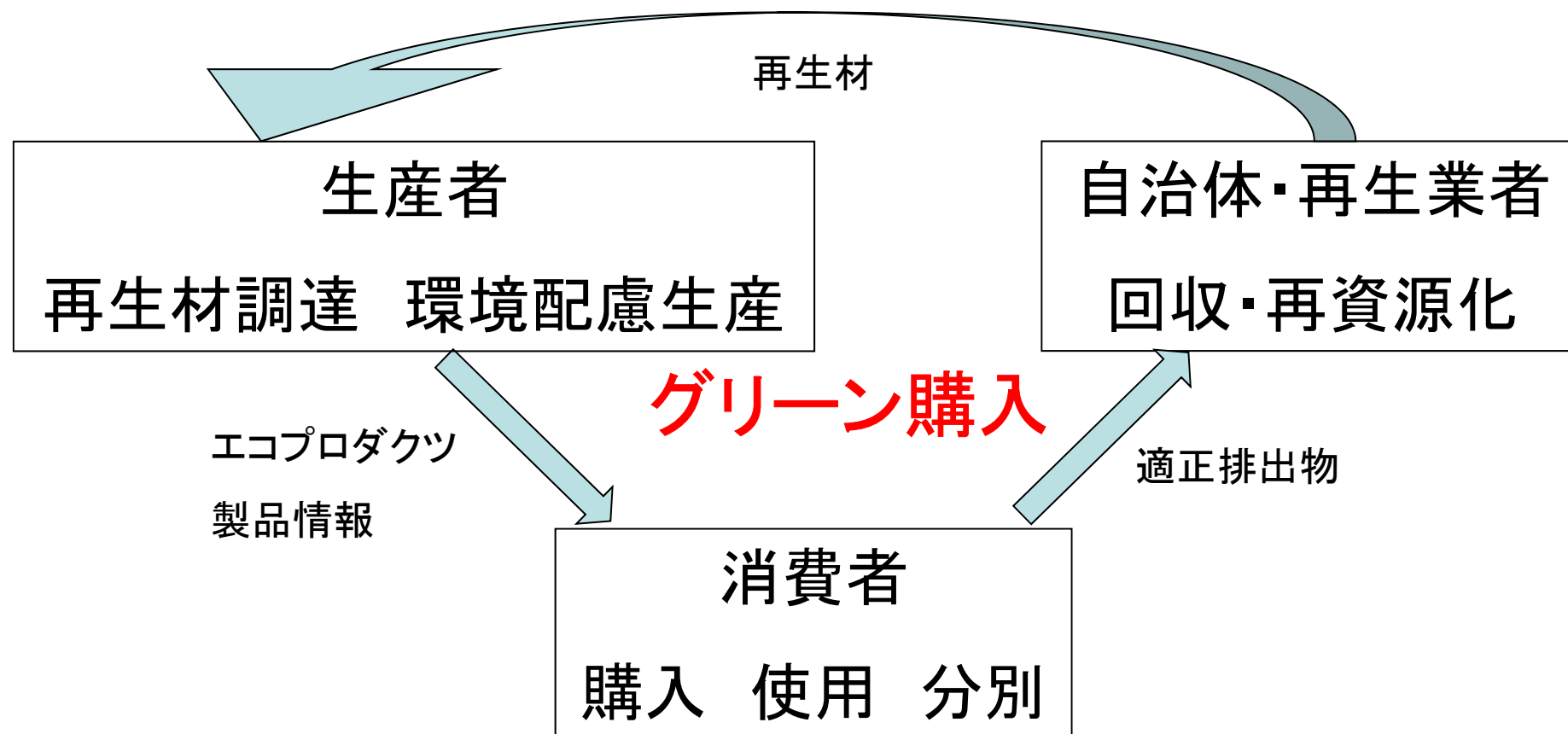
グリーン購入の実践

環境NGOと協業してシェアリングビジネスを立ち上げ

自社製品のリユースビジネス

ビジネス・バリューチェーンの内側 : ビジネス機会の活用

グリーン購入は共通価値の創造の第一歩



バリューチェーン協働の事例 資源循環技術・システム表彰

平成 28 年度
資源循環技術・システム表彰



ケミカルリサイクルによる
PETボトルの循環利用

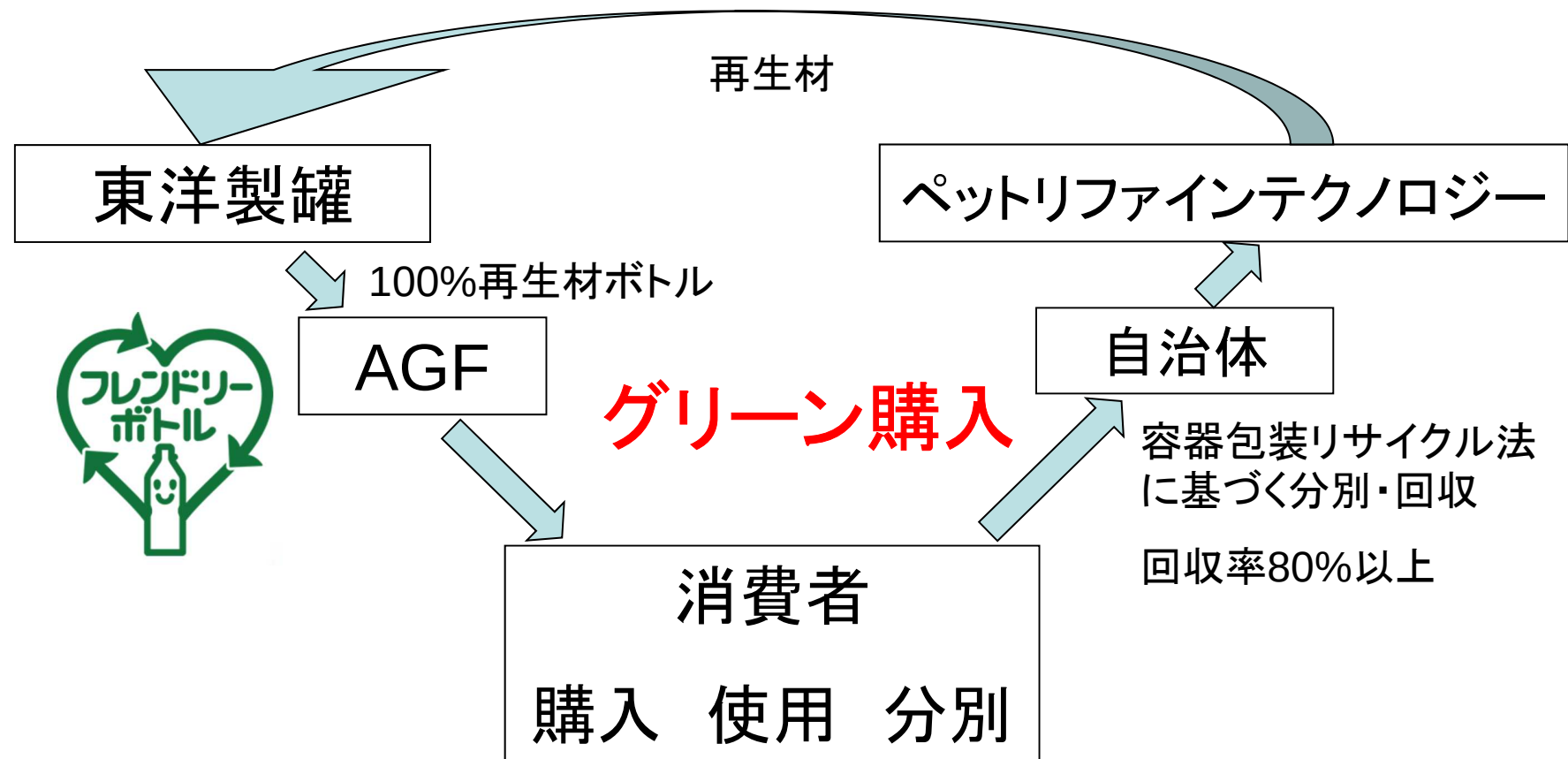
味の素ゼネラルフーズ株式会社（東京都新宿区）

東洋製罐株式会社（東京都品川区）

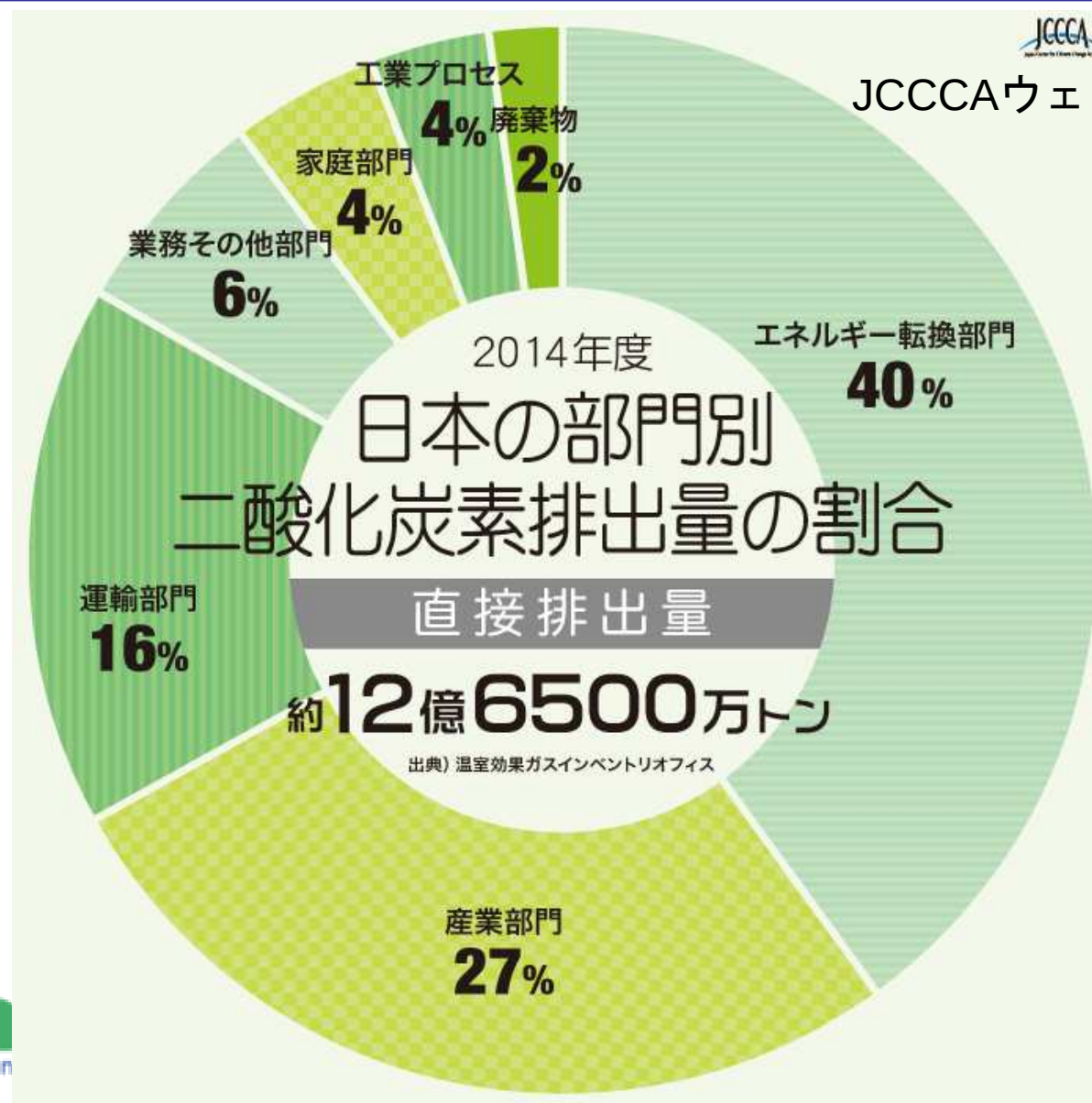
ペットリファインテクノロジー株式会社（神奈川県川崎市）



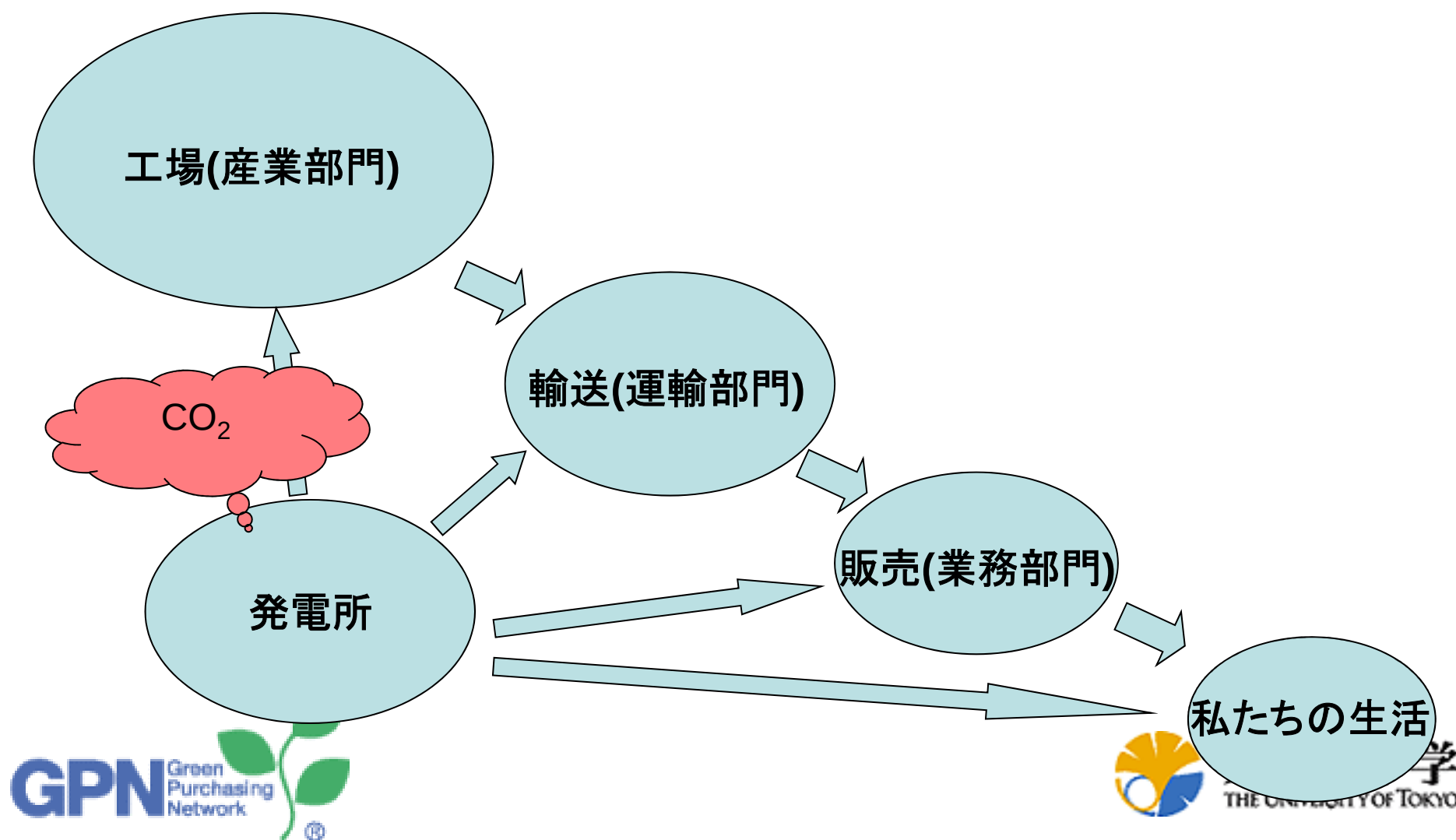
グリーン購入によるバリューチェーン協働



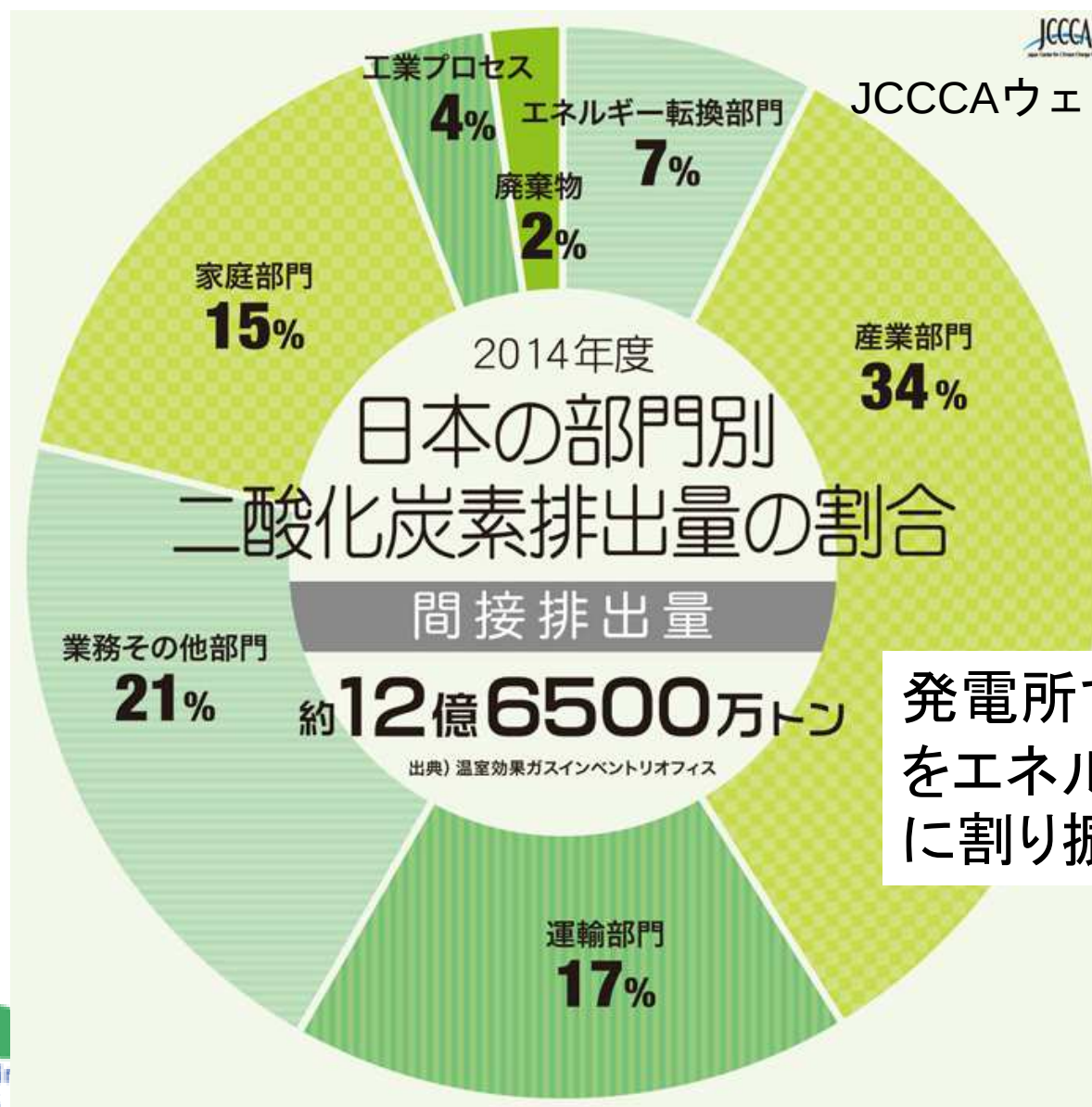
だれが地球温暖化に貢献しているか



発電された電気は産業・消費で使われている



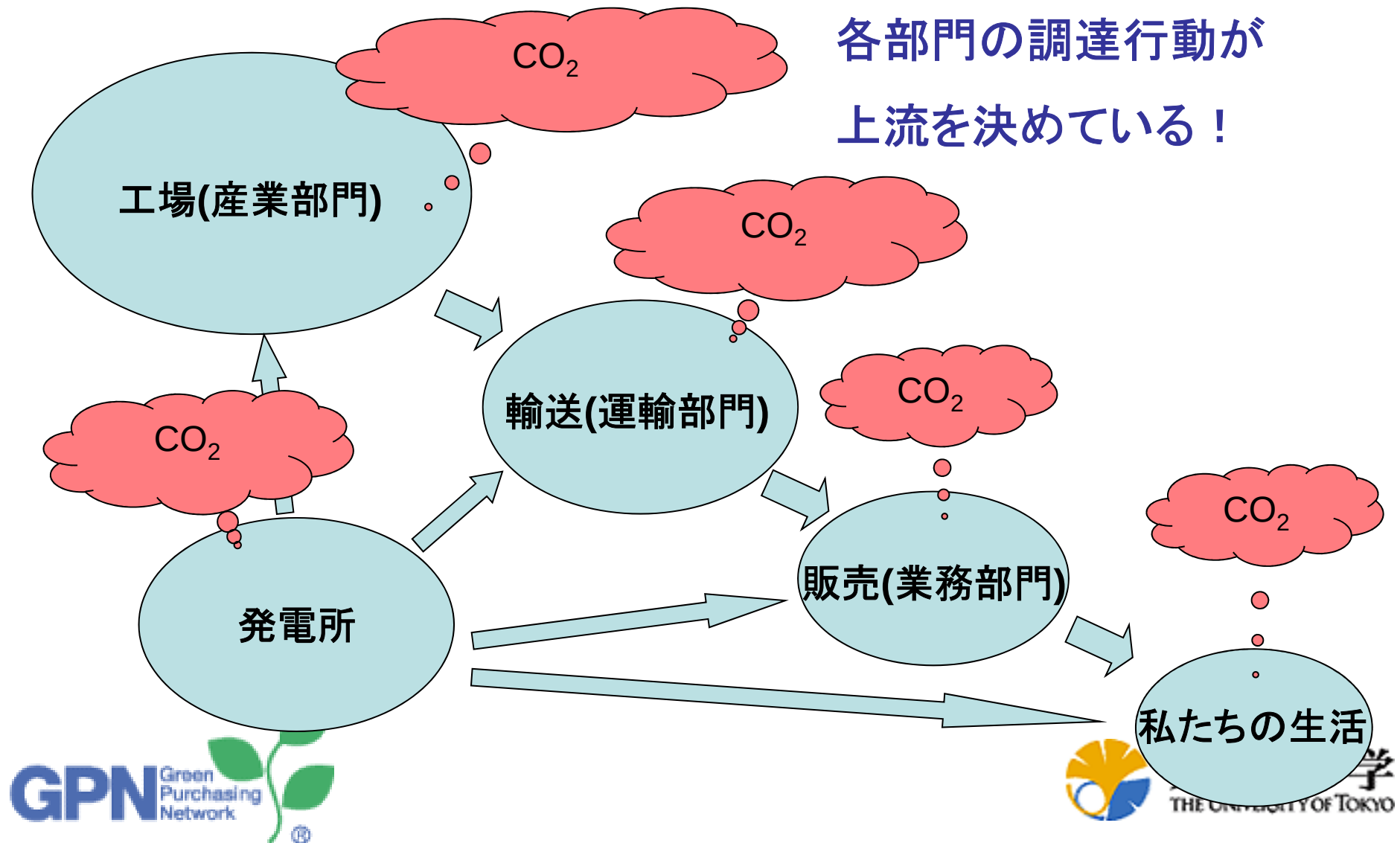
だれが地球温暖化に貢献しているか



発電所でのCO₂排出
をエネルギー使用者
に割り振ると

バリューチェーンで製品が製造され消費される

各部門の調達行動が
上流を決めている！

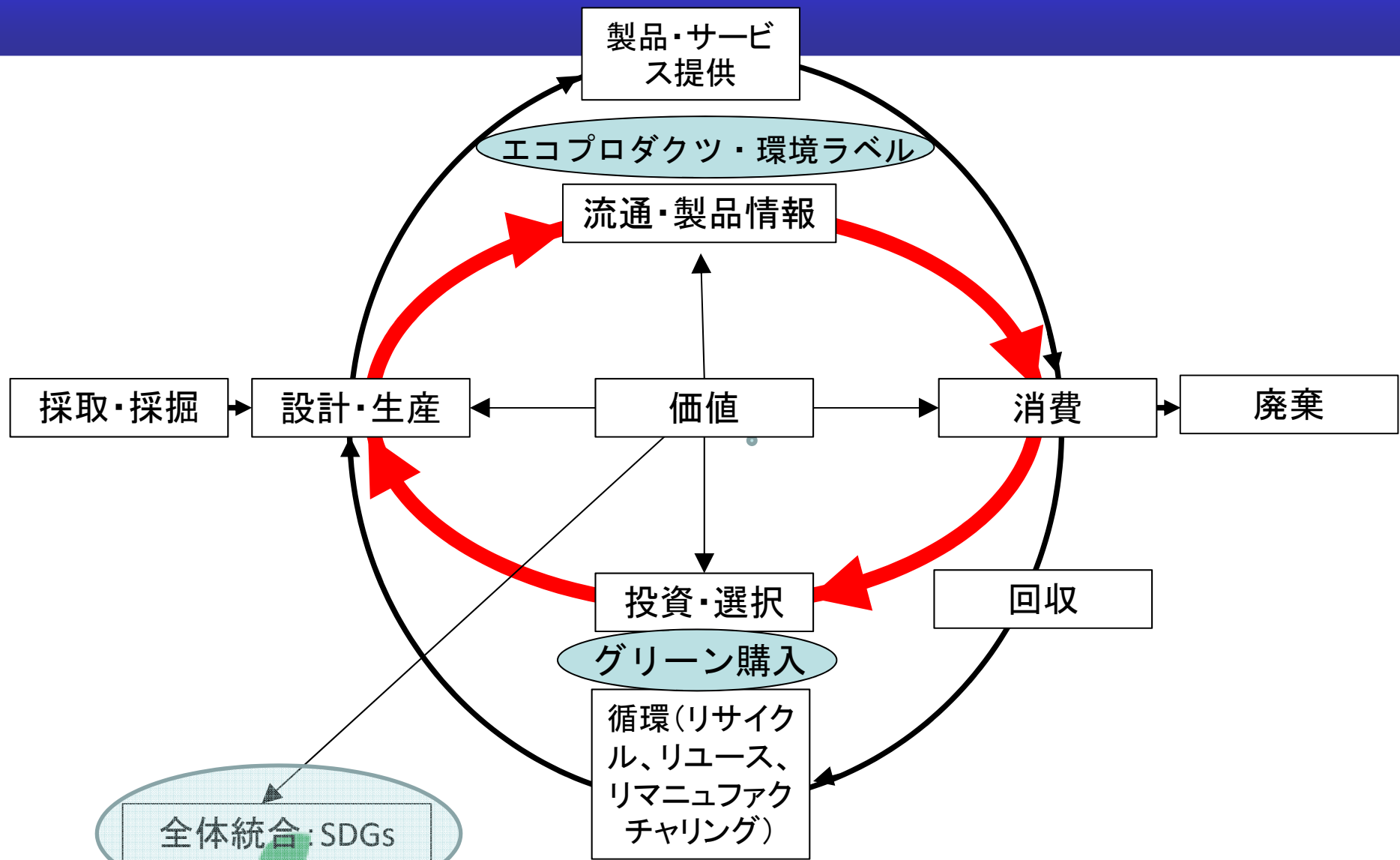


生産者からの環境情報の例

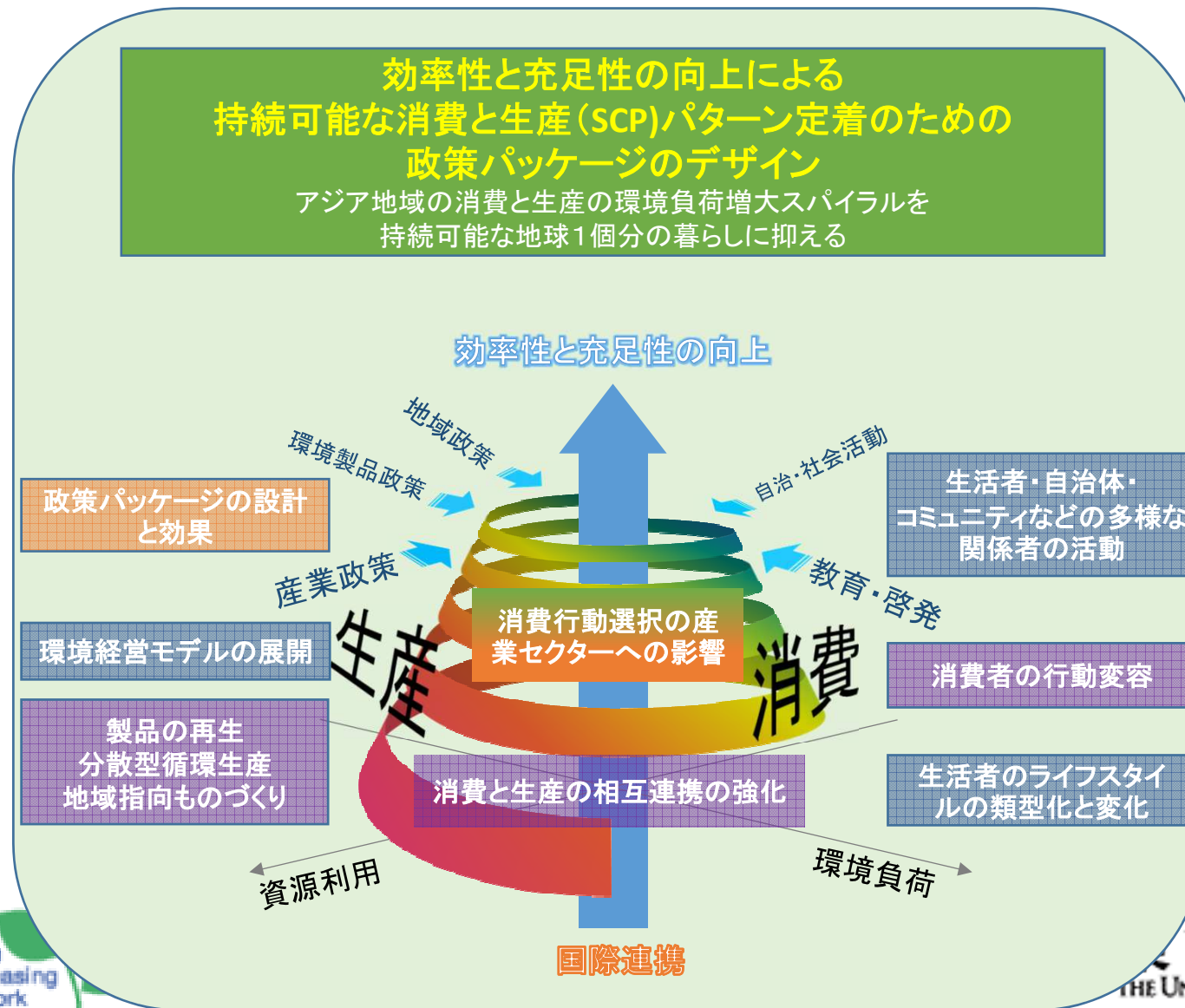
- GPNデータベース
- エコマーク(タイプⅠラベル)
- エコリーフ (タイプⅢラベル)
- カーボンフットプリント
- 各社のタイプⅡラベル
- グリーン購入法判断基準



消費と生産の相互駆動による「持続可能な消費と生産」の実現



研究者による取り組み：環境省戦略研究プロジェクト S-16
アジア地域における持続可能な消費・生産パターン定着のための政策デザインと評価



まとめ：消費・生産の相互駆動のために

消費者・調達者として

- 上流プレイヤーに対する役割
 - 環境に配慮した企業の優遇
 - 環境性能に優れた製品の優先購入
- 自身の役割
 - 無駄な購入をしない
 - 信頼できる環境ラベル・環境情報の確認
 - 適切な利用・長期の利用
 - ライフサイクル情報を得る
- 下流プレイヤーに対する役割
 - 適正な分別排出

生産者として

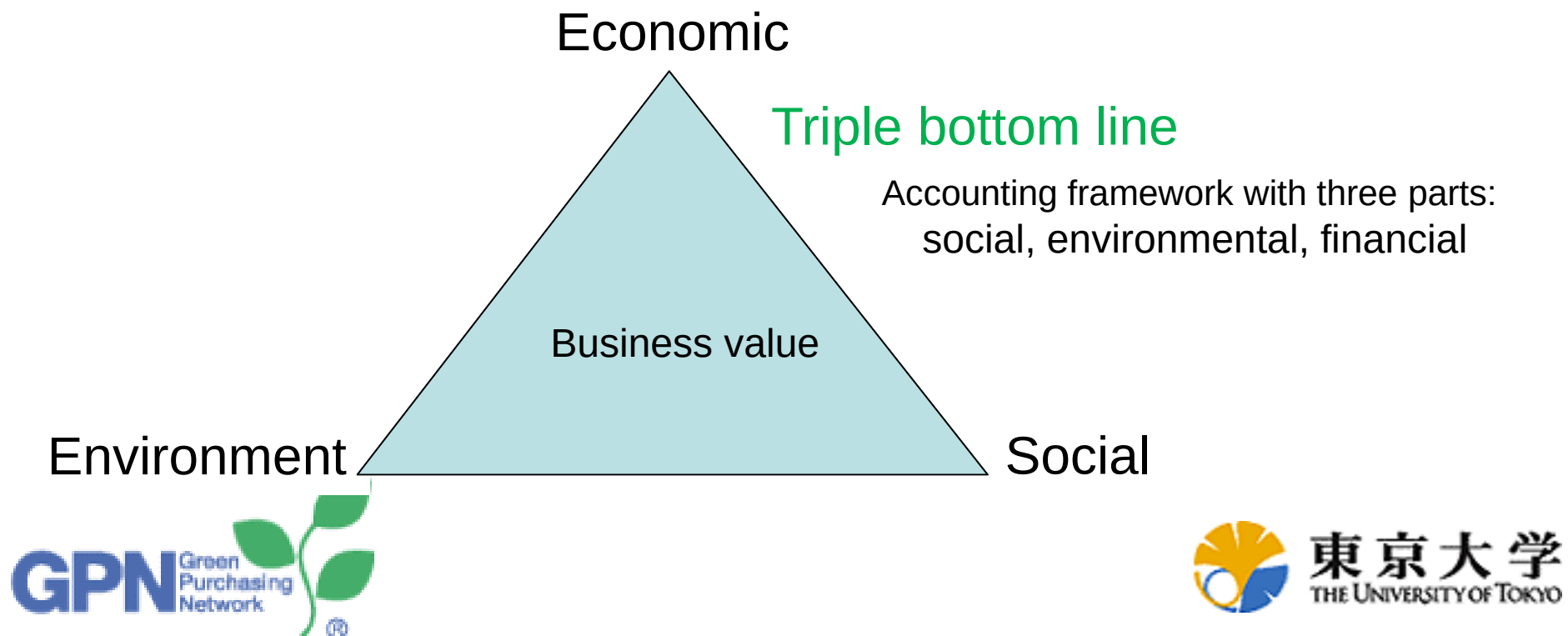
- 上流プレイヤーに対する役割
 - 環境に配慮した調達・購入
 - 製品情報の共有
- 自身の役割
 - 環境に配慮した生産・経営
 - 信頼できる環境ラベルの取得製品情報の適切な開示
 - 環境にかかわる知識の獲得
- 下流プレイヤーに対する役割
 - 環境情報の伝達
 - 製品情報の共有

- 以下、一部の参考英文スライド

Sustainable Development

- Development that meets the needs of the present without compromising the ability of future generations to meet their own needs

1987 Brundtland Report, United Nations World Commission on Environment and Development (WCED)



2015: Year of Sustainable Development

- June G7 Elmau Summit
 - Resource Efficiency
- September UN Sustainable Development Summit
 - 2030 Agenda for Sustainable Development
=SDGs
- December COP21
 - Paris Agreement
 - ✓ limiting global warming well below 2°C.

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



Sustainable Development Goals (SDGs)

Goal 1 End **poverty** in all its forms everywhere

Goal 2 End **hunger**, achieve **food security** and improved nutrition and promote sustainable agriculture

Goal 3 Ensure **healthy lives** and promote **well-being** for all at all ages

Goal 4 Ensure inclusive and equitable quality **education** and promote lifelong learning opportunities for all

Goal 5 Achieve **gender equality** and empower all women and girls

Goal 6 Ensure availability and sustainable management of **water and sanitation** for all

Goal 7 Ensure access to affordable, reliable, sustainable and modern **energy** for all

Goal 8 Promote sustained, inclusive and **sustainable economic** growth, full and productive employment and **decent work** for all

Goal 9 Build **resilient infrastructure**, promote inclusive and **sustainable industrialization** and foster **innovation**

Goal 10 Reduce **inequality within and among countries**

Goal 11 Make **cities** and **human settlements** inclusive, safe, resilient and sustainable

Goal 12 Ensure sustainable consumption and production (SCP) patterns

Goal 13 Take urgent action to combat **climate change** and its impacts*

Goal 14 Conserve and sustainably use the **oceans**, seas and **marine resources** for SD

Goal 15 Protect, restore and promote sustainable use of terrestrial **ecosystems**, sustainably manage forests, combat **desertification**, and halt and reverse **land degradation** and halt biodiversity loss

Goal 16 Promote peaceful and **inclusive societies** for SD, provide access to justice for all and build effective, accountable and inclusive institutions at all levels

Goal 17 Strengthen the means of **implementation** and revitalize the **global partnership** for SD

Goal 12. Ensure sustainable consumption and production patterns

12.1 Implement the 10 Year Framework of Programmes on Sustainable Consumption and Production Patterns, all countries taking action, with developed countries taking the lead, taking into account the development and capabilities of developing countries

12.2 By 2030, achieve the sustainable management and efficient use of natural resources.

12.3 By 2030, halve per capita global food waste at the retail and consumer levels and reduce food losses along production and supply chains, including post harvest losses

12.4 By 2020, achieve the environmentally sound management of chemicals and all wastes throughout their life cycle, in accordance with agreed international frameworks, and significantly reduce their release to air, water and soil in order to minimize their adverse impacts on human health and the environment

12.5 By 2030, substantially reduce waste generation through prevention, reduction, recycling and reuse

12.6 Encourage companies, especially large and transnational companies, to adopt sustainable practices and to integrate sustainability information into their reporting cycle

12.7 Promote public procurement practices that are sustainable, in accordance with national policies and priorities

12.8 By 2030, ensure that people everywhere have the relevant information and awareness for sustainable development and lifestyles in harmony with nature

12.a Support developing countries to strengthen their scientific and technological capacity to move towards more sustainable patterns of consumption and production

12.b Develop and implement tools to monitor sustainable development impacts for sustainable tourism that creates jobs and promotes local culture and products

12.c Rationalize inefficient fossil fuel subsidies that encourage wasteful consumption by removing market distortions, in accordance with national circumstances, including by restructuring taxation and phasing out those harmful subsidies, where they exist, to reflect their environmental impacts, taking fully into account the specific needs and conditions of developing countries and minimizing the possible adverse impacts on their development in a manner that protects the poor and the affected communities

THE 2030 AGENDA FOR SUSTAINABLE DEVELOPMENT

Chap. 67

- Private business activity, investment and innovation are major drivers of productivity, inclusive economic growth and job creation. We acknowledge the diversity of the private sector, ranging from micro enterprises to cooperatives to multinationals. We call upon all businesses to apply their creativity and innovation to solving sustainable development challenges.

“Sustainable Consumption and Production” Centered Business Activities



OPEN 2030 Project for SDGs by Japanese Companies



THE GLOBAL GOALS
For Sustainable Development



企業と生活者で
ひとつ先のこと
OPEN 2030 PROJECT

2030年に向けた持続可能な開発目標（SDGs）をテーマに、
社会・企業・生活者の未来へのアクションを創り出すプロジェクト
「OPEN 2030 PROJECT」発足。

このたび、持続可能な開発目標（Sustainable development goals、以下SDGs）の達成を目指し、
未来の社会を新しく創り出すために、企業の変革とイノベーションをうながすプロジェクト「OPEN 2030 PROJECT」が発足しまし
た。

2016年の活動開始に向け、本日9月28日より参加企業の募集を開始いたします。

GPN



大学
CITY OF TOKYO

SDG Compass for Business Action

Quote from SDG Compass



**The guide for business
action on the SDGs**

Developed by:



United Nations
Global Compact



wbcasd



Step 01
**Understanding
the SDGs**



Step 02
**Defining
priorities**



Step 03
**Setting
goals**



Step 05
**Reporting &
communicating**

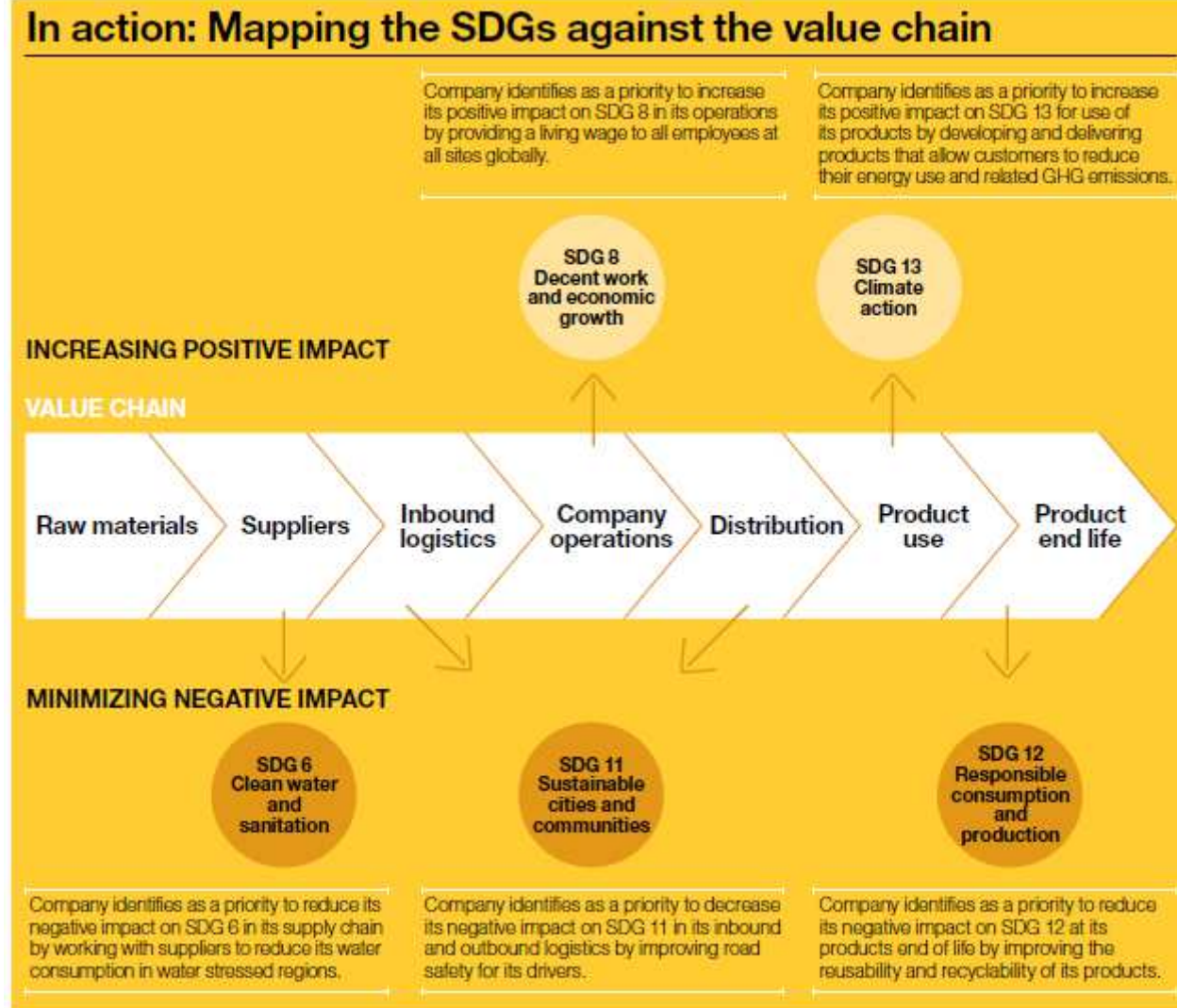


Step 04
Integrating



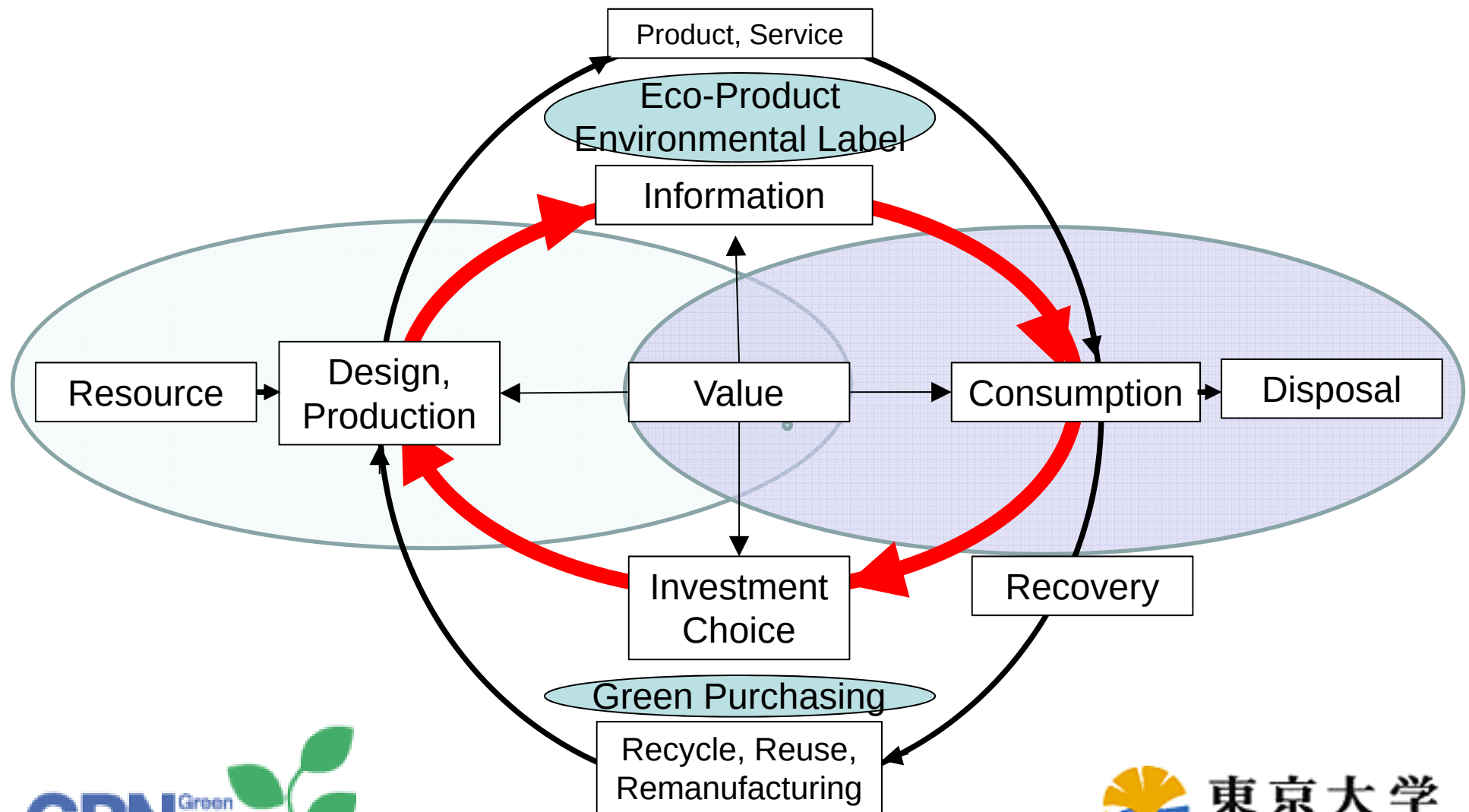
Quote from SDG Compass

Defining Priorities by Marring against Value Chain



Quote from SDG Compass

Sustainable Consumption and Production Pattern



Design of Policy Package to Ensure Sustainable Consumption and Production by Enhancing Efficiency and Sufficiency

Efforts towards sustainable spiral of
consumption and production pattern in Asian region

